

平成29年6月2日に長野県佐久市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

6月2日10時30分頃、佐久市常田(さくしときだ)から佐久市新子田(さくしあらかだ)にかけて突風が発生し、非住家の小屋組の損壊、倒木、農業用ハウスの鋼管の変形や倒壊などの被害がありました。

このため6月2日及び6月3日、長野地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定には至らなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害や痕跡、聞き取り調査から被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

(根拠)

- ・非住家の屋根の飛散があった。
- ・非住家の小屋組の損壊があった。
- ・樹木の根返りがあった。

この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。